

小規模施設の効率化に特化 低コストのホテルシステム

(株)タップ

東京都江東区東陽2-2-4

☎03-5683-5314

<http://www.tap-ic.co.jp>

通称「働き方改革関連法」が成立し、施行までに最も緊急な対応を迫られるのが小規模宿泊施設だろう。「IT」や「IoT」がビジネスのキーワードとなった現在でも、小規模施設の日常業務へのテクノロジー導入は遅れている。既存の宿泊関連事業者が、買収や新規開発によってインバウンド向けホテルなどのマーケットへの進出計画を立てる際も、ホテルシステムの選択は小さくない問題になりそうだ。

こうした状況に対応して、ホテル運営経験の浅い社員やアルバイト従業員でも簡単に使いこなすことができ、導入・ランニングコストの低い

ホテルシステムとして開発されたのが、(株)タップの「小規模宿泊施設向け WEB 宿泊予約・宿泊管理システム accomod (アコモド)」である。同社代表取締役社長清水吉輝氏は、サービスの特徴について次のように説明する。

「シテイホテルや宿泊主体チェーンでは、ホテルシステムはほとんど導入済みですが、単体の小規模ホテル・旅館では、紙の台帳に手書きという方法で予約や顧客管理をこなしている例も多いと思います。業務に時間がかかりミスも出て、書類の保管場所にも困るといった問題が山積していても、現場のがんばりでなんとかしているという状況でしょう。ITの恩恵をほとんど受けていない小規模施設向けに開発したホテルシステムがアコモドで、おむね50室以下のホテル・旅館、ホステル、カプセルホテル、民宿などのシンプルなおオペレーションには十分な機能を備えています。初期費用無料でインターネット無線LAN環境とタブレットPCがあれば、すぐに利用開始できるので、導入コストも低く抑えられます。小規模施設ではとくにシステムの費用対効果がシビア

に求められますが、紙ベースの手作業に比べ大幅に労働時間が軽減され、低い投資額で現場の作業負担が大きく減ることは間違いありません」

タップのノウハウを凝縮し 小規模施設の業務をカバー

アコモドには、フロント業務の予約管理・CI/CO・会計、各種帳票作成、顧客管理機能などに加え、WEB 宿泊予約システムが標準装備される。簡単な設定で自社HPに予約機能を追加でき、予約サイトコントロールとの連携も進めている。クレジットカード事前決済や予約画面の4ヶ国語対応で、インバウンド客対策も万全だ。機能についても継続したバージョンアップを実施しており、ユーザーの声を反映した機能強化も積極的に取り入れていくとのこと。システム管理を委託することでセキュリティ的にも安心出来る。利用料金は、ハードや通信費を除く初期費用無料で、月額料金はアコモドで計上した宿泊関連料金の1%となっている。

アコモドは、800以上のユーザーを持つ同社のPMSのいわば簡易版で、宿泊施設の運営に関する

ノウハウが詰め込まれている。アコモドの導入は、施設のフロント業務を見直し改善を行ういい機会にもなるだろう。ITの導入による働き方改革には、あれもこれもではなく、費用対効果を十分に検討した上で、経営上無理のない投資計画から着手すべきというのが清水氏のアドバイスである。その意味では、まずアコモドを導入し、事業規模の拡大に伴ってフルスペックのPMSに移行するというのも選択肢になる。非効率な慣行作業を現場のサービス残業でこなしていくといった労働環境では、慢性的な人手不足の中、宿泊業の将来像は見えない。一方、インバウンド市場の成長過程で、小規模施設のマーケットは確実に広がっている。ローコストでの市場参入に際して、アコモドは強力な武器になりそうだ。



アコモドはタップの今まで蓄積したノウハウを生かし、小規模施設でも使いやすい設計となっている。